

第71期 事業報告書

2021年1月1日 ▶ 2021年12月31日

2022年1月1日をもちまして、
「株式会社妙徳」は
「コンバム株式会社」に
社名変更いたしました。



当社の新しいロゴマークです。
エジェクタ式真空発生器の代名詞でもある、「CVコンバム」のシルエットの中に、
吸着ワークをイメージした文字で「CONVUM」を表現しました。





真空吸着機器のパイオニアメーカーとして
魅力ある製品づくりを通じて、
社会から信頼される企業、
継続的な企業成長を目指してまいります。

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
また平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第71期（2021年1月1日～2021年12月31日）の事業概況
を謹んでご報告いたします。

2022年3月

代表取締役社長 伊勢 幸右

社名変更について

当社は創業以来70年、「妙徳」という名称で
皆さまにご愛顧いただいております。これは、
創業時にご近所のお寺のお名前をいただいたも
のです。今から50年前、エジェクタ式真空発生
器を開発販売した際、コンプレッサの圧縮空気
により吸引（バキューム）する原理にちなんで、
「CONVUM コンバム」という商品ブランド名
を造りました。以来、業界内で広く認知されて
きました。このたび、発売から50周年を迎え、
社名を「コンバム株式会社」に変更し、製品ブ
ランド価値の向上とコーポレートブランドの確立
を目指してまいります。

トップインタビュー

Q①—第71期の業績についてご説明ください。

第71期の連結売上高については、2,469百万円（前年同期比113.1%）となりました。国内市場においては、世界的な半導体需要を受け、メンテナンス需要を中心に大口案件の増加が顕著となりました。一方で、自動車及び食品機械関連需要も堅調に推移しました。引き続き、人手不足に伴う製造工程の省人化、自動化の流れを背景に、ロボットハンド関連製品の需要取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。環境に配慮した電気駆動の小型製品の拡充も行いました。この結果、売上高は1,751百万円（前年同期比110.5%）となりました。

海外については、韓国市場では引き続き、新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、不安要素はありましたが、半導体関連の需要が拡大し、底堅く推移しました。一般産業機器の自動化装置向けに、現地生産によるセカンドブランド製品の拡充を行い、価格競争の中でユーザーニーズに対応してまいりました。この結果、売上高は455百万円（前年同期比136.4%）となりました。中国市場では、米国との関係性に継続的な不安要素はありながらも、全般的に設備投資は回復基調となりました。その一方で、自動車関連の生産体制縮小の影響を受けました。この結果、売上高は131百万円（前年同期比91.5%）となりました。その他では、タイ国子会社にお

経営理念

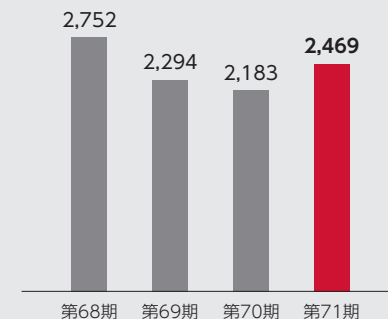
人を大切にし、創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により
豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。

企業理念

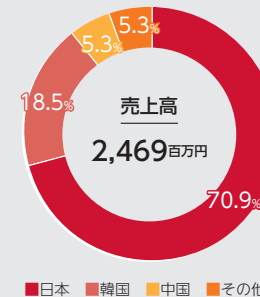
- お客様を大事にする
- 最適な労働環境の整備を通じて従業員一人一人が安心して働ける職場作り
- 各人のアイデアと顧客ニーズの融合による開発をモットーとする
- 他社との提携を推進し、これにより得られた利益は分け合う
- ガラス張りの経営
- 職場内のコミュニケーション（報・連・相）の重視
- 仲間同士が信頼しあう職場作り

連結業績ハイライト

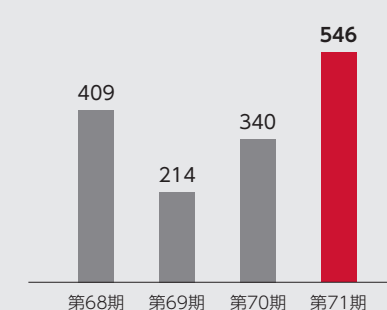
■ 売上高 (百万円)



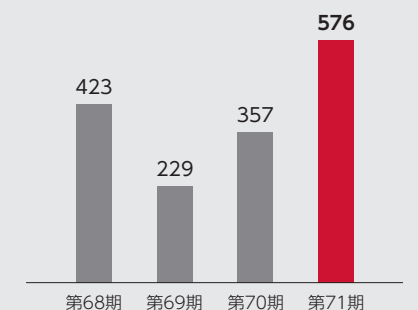
■ 地域別売上高比率



■ 営業利益 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)



(注) 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正（企業会計基準第28号2018年2月16日）を第69期の期首から適用しており、第68期については、遡及適用後の数値を記載しております。

トップインタビュー

いては、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、自動車関連設備、食品関連設備への製品投入を積極的に行いました。タイ国周辺諸国では、半導体設備投資の拡大を受け、メンテナンス部品の需要が拡大しました。また、米国子会社においては新規顧客開拓と、既存販売店への拡販活動を行いました。この結果、売上高は131百万円（前年同期比109.1%）となりました。

利益面については、連結経常利益は576百万円（前年同期比161.1%）、親会社株主に帰属する当期純利益は402百万円（前年同期比164.5%）となりました。

Q②—今期の見通しと、主な取り組みについてお聞かせください。

2022年12月期の連結業績予想は、連結売上高2,422百万円、連結経常利益484百万円、親会社株主に帰属する当期純利益335百万円を見込んでおります。これらの目標を達成するため、以下の取り組みを実施してまいります。

当社独自の真空吸着機器に特化した基礎研究と新製品開発を推し進めます。また、今期より、岩手事業所内に新工場を増設し、メイン製品である吸着パッドの自動成形機を導入し、生産効率の改善に取り組みます。引き続きメンテナンス需要の増加が予想されることから、社内での自動化生産を推進し、品質の安定とコスト削減に取り組みま

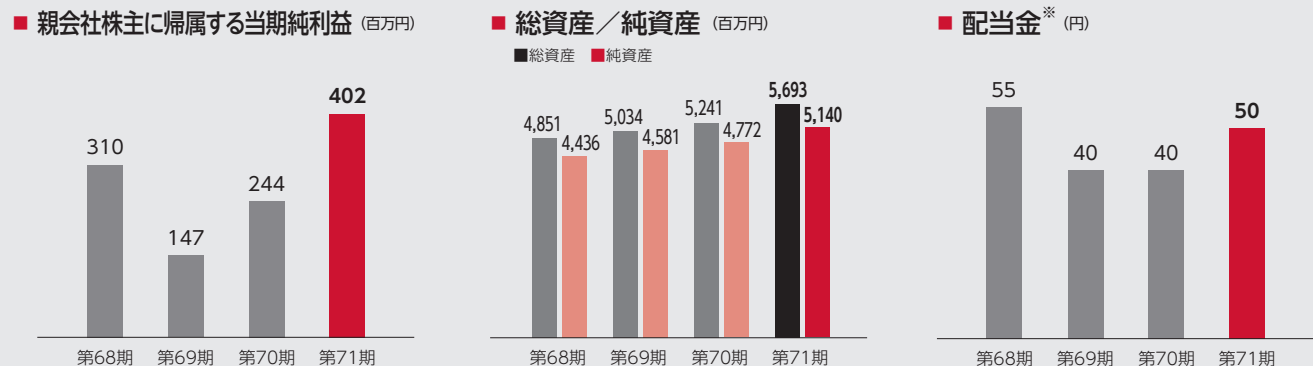
す。近年のロボット需要の拡大に対応し、当社の真空吸着技術を応用したロボットハンドの開発と環境に配慮した電動化製品の開発による、将来を見据えた取り組みを継続してまいります。

Q③—最後に株主の皆さまへメッセージをお願いいたします。

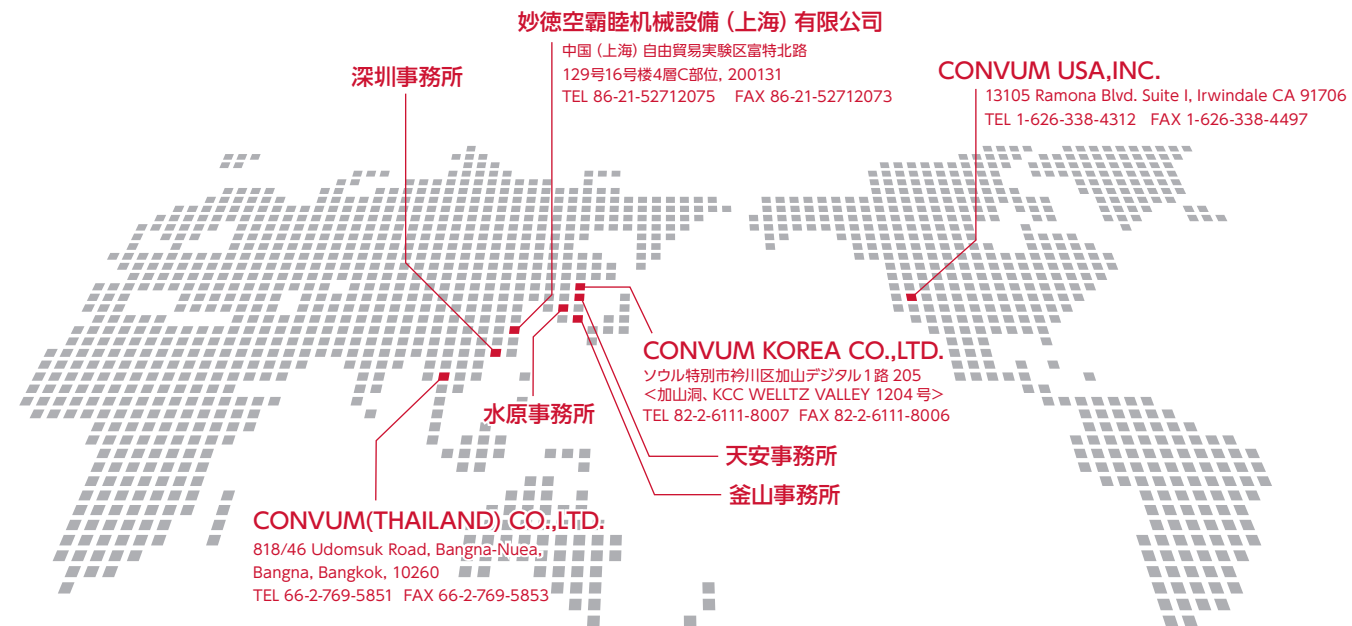
コンバムグループは、株主の皆さまならびにステークホルダーの方々のご期待に応えるため、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。そのためにはメーカーとしての根幹である、新製品開発と市場投入を積極的に推し進めていきます。株主の皆さまへの利益配分につきましては、業績及び将来に向けた投資資源の確保を考慮した株主還元を基本方針とし、連結配当性向25%を目標としております。

このような方針のもと、第71期の配当につきましては、中間配当金を1株あたり25円00銭、期末配当金を1株あたり25円00銭（年間50円00銭）とさせていただきますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

社名をコンバム株式会社へ変更し、心機一転、更なるグローバルブランドの確立への取り組みに邁進してまいります。株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営目標達成のために全力を挙げて取り組んでまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



*2018年7月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の株式併合を行っております。第68期については、株式併合後の配当金額で記載しております。



トピックス 岩手事業所 新工場稼働

当社は、2022年1月より、メイン工場である岩手事業所内に新工場を増設し本格的に稼働を開始しました。当社売上の50%を占める吸着パッドの生産ラインと商品センターを新規に設置しました。

吸着パッドは従来の金型による成形工程と仕上げラインに加え、新たに自動射出成形機を導入しました。これにより、吸着パッドの品質安定と生産効率の改善を進めます。また、今後のロボット需要の増加を見込み、食品業界向けに特化した、新素材を用いた吸着パッドの研究開発ラインを構築しました。



エジェクタ (コンバム)

売上高 8億47百万円

EJECTOR (CONVUM)

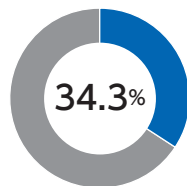
エジェクタは圧縮空気を利用して真空を発生させる真空発生器で、圧縮空気をノズルから放出 (エジェクト) させることから由来しております。

About CONVUM

コンバムとはコンプレッサからの圧縮空気でバキューム (真空) を発生させること、バキュームをコントロールできる装置 (コントロール バキューム) をイメージして創り出した造語です。CONVUMは当社の登録商標です。



売上構成比



一般的に設備投資需要が増加し、半導体製造装置及び、各種自動機械での新規装置及び生産増によるメンテナンス需要が堅調となり、当期の連結売上高は847百万円と増加しました。全製品に占める売上高構成比は34.3%となり、前年同期比1.9ポイント上昇いたしました。

吸着パッド

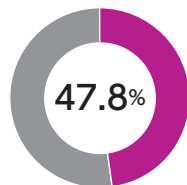
売上高 11億80百万円

PAD

吸着パッドは真空発生機器より得られる真空 (負圧) を利用してワーク (吸着物) を吸着し、持ち上げる製品です。「吸着パッド」の他、「バキュームパッド」「サクシオンパッド」「サクシオンカップ」「カップ」とも呼ばれています。パッドは人間で例えると「手」(または指) とも言えます。



売上構成比



設備投資需要の増加と、生産活動の高まりに伴い、特に半導体製造設備向けの大口需要がありました。ロボット関連業界向けの新製品の需要拡大もあり、当期の連結売上高は1,180百万円と増加しました。売上高構成比については47.8%となり、前年同期比4.5ポイント低下いたしました。

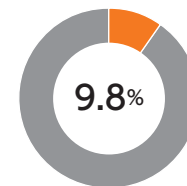
圧力センサ

売上高 2億40百万円

SENSOR

気体や液体の圧力の変化を内部の感圧素子にて測定し電気信号に変換、出力するものです。当社の圧力センサは空気圧を対象とし、吸着確認・着座確認・元圧管理など様々な用途に使用されています。

売上構成比



半導体製造装置向けの需要拡大に併せて、当期の連結売上高は240百万円と増加しました。売上高構成比は9.8%となり、前年同期比1.7ポイント上昇いたしました。



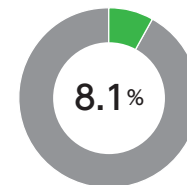
FA機器その他

売上高 2億円

ROBOT-HAND

各種ロボットに取付けるロボットハンドです。各ロボットメーカーの各種ロボットへ取り付け可能なフランジを多数用意しているため、お客様での設計が不要で、すぐにお使いいただくことが可能です。

売上構成比



各種自動機器の新規需要増と設備稼働状況が回復し、真空関連機器のメンテナンス部品の需要が高まりました。また、ロボットハンドの新規需要が拡大しました。当期の連結売上高は200百万円と増加しました。売上高構成比は8.1%となり、前年同期比0.9ポイント上昇いたしました。



当社の製品は、FA(ファクトリーオートメーション) 機器として、様々な業種の製造工程や装置に組み込まれご使用いただいています。

取付・プレス

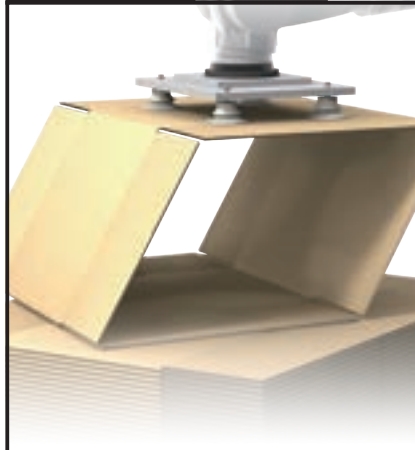


食品の吸着搬送

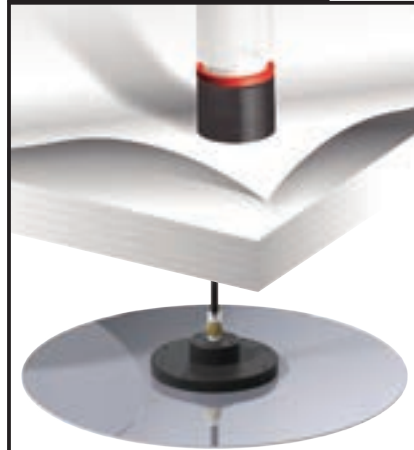


コンバムの製品や技術は様々な産業の生産現場で活躍。
生産の自動化と品質の向上に貢献しています。

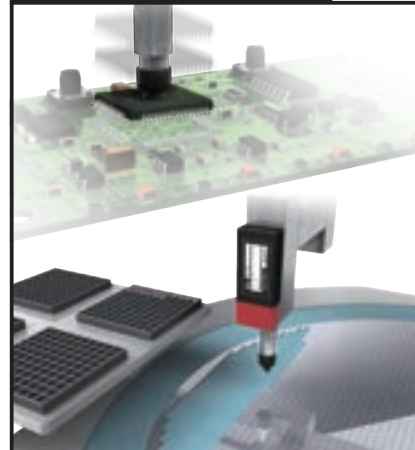
梱包材の製函



非接触搬送



ICチップの吸着搬送



「エジェクタ式真空発生器」(コンバム) 発売50周年

当社は、エジェクタ式真空発生器「CVシリーズ」の発売開始から50周年を迎えました。製造工程の自動化、各種FA機器の発展の流れに伴い、お客様のニーズに対応した製品を開発してまいりました。発売開始から50周年を迎え、エジェクタの当社ブランド名である「コンバム」を社名としました。近年、ロボット需要の拡大により、ロボット関連製品の開発を行い、製品の拡充を進めております。



1972年発売 真空発生器「CVシリーズ」

物流関連ロボット向け

エジェクタ内蔵ロボットハンド
「SGPシリーズ」

ダンボール等、大型重量物対応



小型/協働ロボット向け

小型真空ポンプ内蔵ロボットハンド
「SGEシリーズ」

コンプレッサ不要、小型ロボットへ取付け可能な軽量ハンド



科目	第70期 2020年12月31日現在	第71期 2021年12月31日現在
資産の部		
流動資産	3,002,856	2,992,506
固定資産	2,238,550	2,700,916
資産合計	5,241,407	5,693,422
負債の部		
流動負債	310,216	400,006
固定負債	158,349	152,888
負債合計	468,565	552,894
純資産の部		
株主資本	4,614,073	4,946,821
その他の包括利益累計額	131,202	161,230
非支配株主持分	27,564	32,476
純資産合計	4,772,841	5,140,528
負債及び純資産合計	5,241,407	5,693,422

科目	第70期 2020年1月1日～ 2020年12月31日	第71期 2021年1月1日～ 2021年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	508,705	542,782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210,374	△532,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,053	△69,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,651	10,841
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	260,625	△48,277
現金及び現金同等物の期首残高	1,628,930	1,889,555
現金及び現金同等物の期末残高	1,889,555	1,841,278

科目	第70期 2020年1月1日～ 2020年12月31日	第71期 2021年1月1日～ 2021年12月31日
売上高	2,183,479	2,469,827
売上総利益	1,227,739	1,340,536
販売費及び一般管理費	887,512	793,689
営業利益	340,226	546,846
経常利益	357,728	576,317
税金等調整前当期純利益	356,396	565,691
当期純利益	245,596	407,785
非支配株主に帰属する当期純利益	665	4,991
親会社株主に帰属する当期純利益	244,931	402,793

第71期 決算のポイント

- ✓ 半導体関連設備投資、その他生産設備の再稼働等、堅調に推移し、連結売上高は2,469百万円 (前年同期比113.1%)
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大により、移動の制限や展示会等の縮小、その他費用削減効果により、連結営業利益は546百万円 (前年同期比160.7%)
- ✓ 岩手工場増築、生産自動化への設備投資、新基幹システム導入等、固定資産は462百万円増加 (前年同期比120.7%)
- ✓ 当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて48百万円減少し、1,841百万円

社名	株式会社妙徳
創立 (設立)	1951年4月16日
資本金	7億4,812万5千円
本社所在地	東京都大田区下丸子2丁目6番18号
国内事業所	岩手、東京、大阪
連結子会社	妙徳空覇陸機械設備(上海)有限公司 CONVUM KOREA CO.,LTD. CONVUM (THAILAND) CO.,LTD. CONVUM USA,INC.
従業員数	117名 (連結従業員数)

代表取締役社長	伊勢 幸治
取締役	佐藤 穰
取締役	國松 孝行
取締役	杉山 達郎 *
常勤監査役	佐藤 伸一
監査役	友田 勉 *
監査役	牧村 博一 *

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

ホームページ
のご案内



当社では、ホームページにてIR情報をはじめとして、企業情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。

<https://convum.co.jp>



発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
6,600,000株	1,657,000株 (その内自己株式 100,416株)	965名 (前期末比 35名減)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
伊勢興産株式会社	282,760	18.17
伊勢 すが子	126,020	8.10
伊勢 幸治	82,410	5.29
いずも産業株式会社	53,300	3.42
光通信株式会社	45,100	2.90
日本証券金融株式会社	37,800	2.43
MTAsia株式会社	36,000	2.31
妙徳従業員持株会	35,350	2.27
神谷 信一	31,100	2.00
株式会社日伝	28,000	1.80

(注) 1. 当社は自己株式を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式数を控除して計算しております。

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 お問合せ先: 0120-232-711